

# 中学校・第1学年・家庭分野・題材名「栄養のバランスのよい食事について考えよう」内容「B衣食住の生活」(2)ア(ア)(イ), イ①

## 題材のねらい

中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題をもって、栄養素や栄養的な特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量、1日分の献立作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、中学生の1日分の献立を工夫することができる。

生活の課題  
発見

解決方法の  
検討と計画

課題解決に向けた  
実践活動

実践活動の  
評価・改善

家庭・地域  
での実践

## ICT活用のポイント

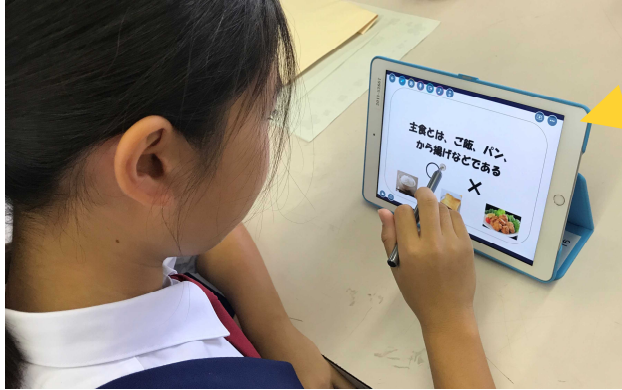
- 導入時において、献立作成に関連するクイズを作成して保存しておき、本時の学習課題（本時の目標）へつなげる。
- ICT端末を活用し、「栄養のバランスのよい食事」について、食品摂取量のめやすを用いて試行錯誤しながら、献立を考えることができるようにする。
- グループや全体での献立の交流の場面において、情報を共有することで、思考の過程を視覚化しやすくする。

## 事例の概要

- 導入では、前時の復習とともに、学習に対する意欲や見通しがもてるように、ICTを活用して献立作りに関連するクイズを出題し、「食品群別摂取量の目安を考えた献立をたてよう」という本時の学習課題（本時の目標）につなげる。
- 栄養のバランスのよい1日分の食事となるように、献立作成ソフトを使い献立を考え、その工夫を学び合う。

# 中学校・第1学年・家庭分野・題材名「栄養のバランスのよい食事について考えよう」内容「B衣食住の生活」(2)ア(ア)(イ), イ②

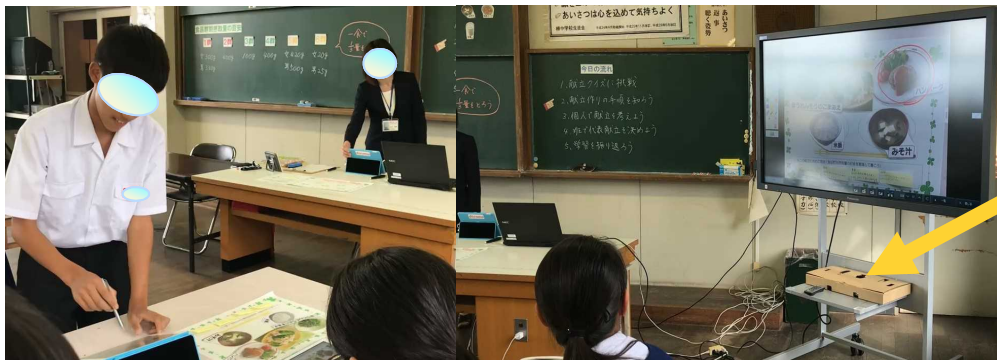
【導入時における教材の同時送信による閲覧】



【記録を基にしたグループでの交流】



【改善記録を基にした全体での交流】



【ICTを活用するメリット】

・献立作成に関連するクイズを作成し、クラウド上に保存しておき、同時に配信することで、課題設定につなげることができる。

【ICTを活用するメリット】

・料理カードの写真をクラウド上に保存しておくことで生徒が試行錯誤することができる。また、考えた根拠を記録し、そのデータを保存しておくことで、グループ交流の際に生かすことができる。

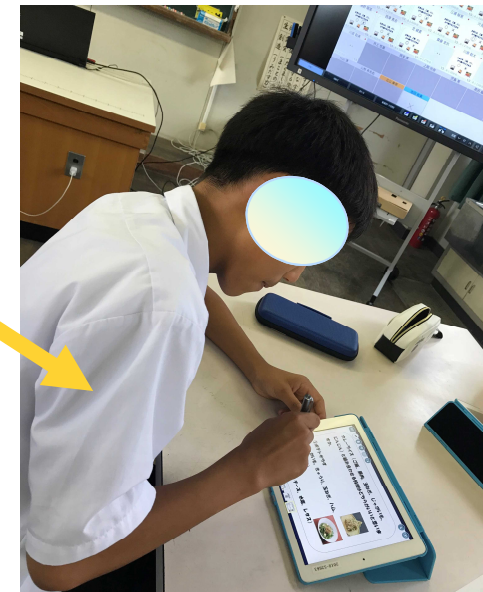
【ICTを活用するメリット】

・各自が考えた献立画像を保存し、それを共有することで、友達と比較しながら互いの考えの根拠や工夫を認め合うとともに、献立の改善に生かすことができる。

【ICTを活用するメリット】

・各グループでまとめ改善した献立をクラウド上に保存しクラス全体で共有することで、考えを深めることができる。  
・大型提示装置を活用し、拡大や焦点化することにより、効果的なプレゼンテーションをすることができる。  
・生徒一人一人の手元でもその様子を確認することができる。

【自分のペースでの試行錯誤、考えの根拠を記録】



【活用したソフトや機能】

写真撮影機能、ファイル共有機能